

BIGLOBE クラウドホスティング  
サーバイメージ持込  
ガイドライン

3.2 版

(2024 年 1 月 18 日)

ビッグローブ株式会社



## 改版履歴

版数	発行日	改訂箇所	改訂内容
1 版	2012 年		初版発行
3.2 版	2024 年 1 月 18 日	2.サーバイメージ構成 ガイドライン	・Windows Server2012 新規販売終了に伴 う記載の削除

## 1. 本ガイドラインについて

サーバイメージ持込機能をご利用いただくためのサーバイメージ構成ガイドラインおよびコントロールパネル機能動作状況を記載しています。

サーバイメージ持込の手順については、ご契約後にダウンロードいただける「サーバイメージ持込ご利用マニュアル」を参照ください。

**持込に利用するサーバイメージは、お客様の責任にて作成をお願いします。また、弊社ではサーバイメージ作成についてのご支援はいたしません。**

## 2. サーバイメージ構成ガイドライン

本機能をご利用するためのサーバイメージの構成について説明しています。サーバイメージは OVF ファイル(拡張子 .ova)形式でエクスポートされたものとし、以下のガイドラインに沿ってサーバイメージを作成してください。

### 【ゲスト OS 種別】

項目	Windows	Linux
OS のバージョンとエディション	<ul style="list-style-type: none"><li>Windows Server 2022 (64bit) Standard Edition</li><li>Windows Server 2019 (64bit) Standard Edition</li><li>Windows Server 2016 (64bit) Standard Edition</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>CentOS 7 (64bit)</li><li>AlmaLinux 8 (64bit)</li><li>Red Hat Enterprise Linux 7 (64bit)</li><li>Red Hat Enterprise Linux 8 (64bit)</li></ul>

- 標準提供以外の OS の種類・バージョンの利用について

標準提供以外の OS の種類・バージョンをインストールすることはサービス約款、BIGLOBE クラウドホスティング ユーザマニュアルに記載しております通り、当社のサポート範囲外となります。サーバイメージ持込機能をご利用の場合に限り、以下の留意事項をご了承の上、標準提供以外の OS を使用できます。

1. 標準提供以外の OS の導入方法・ご利用については、非サポートとなります。
2. 動作保証やトラブル時の復旧、お問い合わせ等は一切行えないことをご了承ください。
3. 持込イメージおよび持込イメージから作成したサーバのご利用・動作内容およびその結果については、お客様が一切の責任を負うものとします。
4. 持込イメージ、持込イメージから作成したサーバが正常利用できなかった場合も、サーバイメージ保管料、サーバ料金が発生します。
5. Windows Serverの持込については、本ガイドラインに掲載されているバージョン、エディションのみ可能です。選択できる OS 以外の Linux 系 OS を持ち込む場合、アップロード時の OS 種別は「CentOS 7」を指定してください。

### 【仮想化基盤】

項目	Windows	Linux
OVF テンプレート作成環境	vSphere 6.7.、7.0	

### 【仮想マシンハードウェア構成】

項目	Windows	Linux
仮想マシンハードウェアバージョン	バージョン 11 Red Hat Enterprise Linux8、AlmaLinux8 の場合は 11 および 15	
仮想マシンの OS タイプ	インストールされている OS と同じにすること	
CPU*	1vCPU(予約 0MHz、制限 2048MHz で制限無しのチェックが外れていること)	
メモリ*	2GB	1GB
HDD 仮想ディスクタイプ	～40GB : シン	
HDD ディスク数	1 (非独立型のみ)	
CD/DVD ドライブ*	CD/DVD ドライブが存在する場合は、以下の設定であること ・デバイスタイプ:「クライアントデバイス」 ・モード:「IDE パススルー(推奨)」	
仮想デバイスノード	SCSI(0:0)	
OVF ファイル	ファイル形式: OVA サイズ上限 : 40GB まで (Windows Server 2016 以降の場合は 100GB まで)	
SCSI バスの共有*	なし	
SCSI コントローラー	LSI Logic SAS	CentOS7、Red Hat Enterprise Linux7 の場合は LSI Logic パラレル AlmaLinux8、Red Hat Enterprise Linux8 の場合は VMware 準仮想化
NIC 種別	VMXNET3	VMXNET3
VMCI	無効	

- 表中に\*印が記されている項目は、ガイドラインに沿わない構成でサーバイメージをアップロードされた場合でも、ガイドラインに沿った構成に自動的に変更されてイメージ登録されます。

## 【ゲスト OS の構成】

項目	Windows	Linux
ファイアウォール設定	ICMP および SNMP 通信が許可されていること	
ネットワーク接続名	「ローカル エリア接続」と「ローカル エリア接続 2」の二つが存在する	「eth0」と「eth1」の二つが存在する
Perl	/	
ファイルシステム		
VMware Tools のインストール状況	インストール済み(上記の仮想マシンのバージョンでインストールされているバージョン)で、仮想サーバ起動時に VMware Tools も起動するように設定 ※VMware Tools は最新版を推奨	
その他設定	CentOS7、RHEL7 を持ち込む場合は以下のパッケージをインストールした状態で OVF テンプレートをエクスポートすること <a href="https://cloudhosting.sso.biglobe.ne.jp/cp/main/help/device_mod7-1.1-0.noarch.rpm">https://cloudhosting.sso.biglobe.ne.jp/cp/main/help/device_mod7-1.1-0.noarch.rpm</a> <a href="https://cloudhosting.sso.biglobe.ne.jp/cp/main/help/route_add-1.0-0.noarch.rpm">https://cloudhosting.sso.biglobe.ne.jp/cp/main/help/route_add-1.0-0.noarch.rpm</a> AlmaLinux8、RHEL8 を持ち込む場合は以下のパッケージをインストールした状態で OVF テンプレートをエクスポートすること <a href="https://cloudhosting.sso.biglobe.ne.jp/cp/main/help/device_mod7-1.1-0.noarch.rpm">https://cloudhosting.sso.biglobe.ne.jp/cp/main/help/device_mod7-1.1-0.noarch.rpm</a> <a href="https://cloudhosting.sso.biglobe.ne.jp/cp/main/help/route_add-2.0-0.noarch.rpm">https://cloudhosting.sso.biglobe.ne.jp/cp/main/help/route_add-2.0-0.noarch.rpm</a>	

## ご利用環境

- 以下の環境での動作を保証しております。
  - ・ Google Chrome、Mozilla Firefox

## ご注意事項

- **【重要】持込に利用するサーバイメージは、お客様の責任にて作成をお願いします。また、弊社ではサーバイメージ作成についてのご支援はいたしません。**
- 【仮想化基盤】に記載の環境で構築された OVF イメージのみ、サーバイメージ持込が可能なことを確認しています。
- サーバイメージの作成は VMware vSphere ドキュメントセンターの情報を参考に、OVF テンプレートのエクスポートを行ってください。

<http://pubs.vmware.com/vsphere-60/topic/com.vmware.ICbase/PDF/vsphere-esxi-vcenter-server-601-virtual-machine-admin-guide.pdf> (外部リンク)

- イメージから作成されたサーバに入っているアプリケーションのライセンスは、お客様で管理ください。
- Windows サーバのイメージから作成したサーバでは、Windows Update、DNS サーバ、NTP サーバの各設定は設定の内容に関わらず、BIGLOBE の既定の設定になります。ただし、Linux の NTP サーバの設定はお客様の設定がそのままご利用いただけます。
- OS のシャットダウン処理が正常に終了したサーバからサーバイメージを作成してください。異常終了したサーバから作成したサーバイメージを持ち込んだ場合、コントロールパネルからサーバの作成が出来ません。
- ファイアウォールの設定等、サーバのセキュリティ対策はお客様にて設定をお願いします。
- OVF テンプレートのエクスポート時にサーバイメージのファイル名として指定できない文字は以下の通りです。以下は OVF テンプレートのエクスポート元となる仮想サーバに定義されている NIC 名にも指定できません。
  - 2バイト文字、Windows でファイル名として許容できない文字
- WindowsServer を持ち込む場合、システム準備ツール(Sysprep)にてサポートしていない役割が構成された持込イメージからはサーバを作成することが出来ませんのでご注意ください。Microsoft 社の情報提供サイトをご参照ください。(参考 URL : <https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/hh824835.aspx>) 情報提供サイトにて「サポートされていません」となっている「サーバの役割」が構成された持込イメージの場合、サーバ作成を行うことができません。
- Red Hat Enterprise Linux を持ち込む場合、サーバイメージ作成元サーバの Red Hat サブスクリプションの有無にかかわらず、Red Hat サブスクリプションなしのサーバイメージとして登録されます。

## 制限事項

- 仮想マシン (VM) が複数含まれるサーバイメージは持ちこめません。(アップロード完了後、エラーとなります。)
- ファイルを分割した仮想ディスク (VMDK ファイル) を含むサーバイメージは持ち込めません。(アップロード完了後、エラーとなります。)
- 持込イメージおよび持込イメージで作成されたサーバについては、以下の機能をご利用いただけません。

持込イメージ	ナノモデルの作成
持込イメージで作成されたサーバ	グローバル IP アドレスなしのサーバを作成後、グローバル IP アドレスを追加
	基本ディスク拡張

### 3. コントロールパネル機能動作状況

作成した持込イメージおよび持込イメージから作成したサーバの動作確認状況をまとめた表です。下記をご確認のうえ、ご利用下さい。ただし、持込イメージおよび持込イメージから作成したサーバのご利用およびその結果については、お客様責任となります。

機能名 (サーバイメージ)		操作名	持込イメージの動作確認状況
サーバ機能	イメージ詳細	-	○
	イメージからサーバ作成	(ナノモデル)	×
		(ベースモデル)	○ (Linux の場合、お客様がお持ちの SSH 鍵をご利用ください。コントロールパネルにて作成した SSH 鍵は使用できません。)
	イメージ削除	-	○
	イメージ共有	共有・共有解除	○

コントロールパネル機能名(サーバ)		操作名	持込イメージから作成したサーバの動作確認状況
サーバ設定	サーバリソース変更	CPU	○
		CPU リソース優先	○
		メモリ	○
		基本ディスク拡張	×
		追加ディスク(D1、D2)	○
		ゾーン変更	○
	追加ディスク変更	切断・接続・料金プラン変更	○
	料金プラン変更	-	○
	サーバ操作	サーバ起動	○
		サーバ再起動・強制再起動	○
		サーバ停止・強制停止	○
		サーバ休止	○
サーバ削除		○	



コントロールパネル機能名(サーバ)		操作名	持込イメージから作成したサーバの 動作確認状況
サーバ設定	スナップショット	作成・リストア	○
	サーバイメージ	作成	○
	サーバ複製	-	○
	ディスク接続・切断	-	○
	IP アドレス追加	-	×
	保持 IP アドレス	IP アドレス保持・割当	○
	コンソール接続	-	○
ネットワーク・ セキュリティ	ファイアウォール	-	○

BIGLOBE クラウドホスティング

サーバイメージ持込

ガイドライン

3.2 版 2024 年 1 月

ビッグロブ株式会社

3.2